2007春闘

全国一般第3次集計

格差是正・生活の向上に向けて
納得できる賃金引き上げの獲得をめざそう！！

＝連合・中小共闘センターは妥結基準を確認＝
昨年妥結実績に500円以上の上積みし、
賃金引き上げ5,300円以上の獲得を！

◆妥結平均（単純集計）　5,705円　昨年実績を664円上回る
◆回答平均（単純集計）　5,390円　昨年実績を521円のプラス
◆連合集計（平均賃上げ、1702組合の回答妥結集計）
5,916円　昨年実績を304円のプラス

4月3日現在、全国一般の集計では回答を引き出した43分会の単純平均は5,390円、2%（昨年対比プラス521円）、加重平均で5,259円、2.03%（対前年比プラス581円）の回答を引き出した。そのうち、妥結した16分会の単純平均は5,705円、2.16%（対前年比プラス664円）、加重平均で6,259円、2.51%（対前年比プラス151円）と昨年実績を上回り健闘している。

先行した分会では妥結・回答とも昨年実績に上積みをはかっているが、06春闘の進捗状況（06春闘は妥結17分会の単純平均4,570円、回答53分会の単純平均5,409円）と比較すると、有額回答の分会数で07春闘は遅れている。経営側の賃上げ抑制を打ち破るため4月闘争体制を強化し、地本段階での統一行動を配置し、連続団交で追い上げをはかっていこう。

また、未解決組合の早期解決をめざし、地方連合会と連名で「経営側への要請書」（14Ｐ参照）などを活用し、未解決分会への支援を強化していこう。

≪連合段階の07春闘状況≫

3月30日現在、連合の第2回回答・妥結集計（1702組合の平均賃上げ方式）の加重平均は5,927円、1.94%（対前年比プラス263円）。また中小共闘が集計した妥結平均（規模300人未満）は単純平均4,971円（1.93%）、加重平均4,827円（1.89%）。対前年比で362円（単純平均）、287円（加重平均）上回っている。

3月30日に開催した中小労働委員会は、中小の相場形成と波及にゆる格差是正をはかるため、今日までの07春闘の結果を踏まえ、妥結基準を設定した。